

## 令和4年度第4回御宿町教育施設検討委員会 議事録

日時：令和4年10月19日（水）

午後3時30分から

場所：御宿町役場大会議室

（事務局）

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

ただいまより、御宿町教育施設検討委員会を開催させていただきます。

はじめに、三上委員長よりごあいさつをお願いいたします。

（委員長）

本日は、ご多用の中教育施設検討委員会にご参加くださり、ありがとうございます。

前回、8月26日の会議におきましては、主に候補地2箇所、御宿中学校、布施小学校それぞれにおける配置図計画などの説明などがございました。

検討委員会といたしましては、候補地を1つに絞らず2つで進めていただきたいというところで事務局にお返ししたところだったかと思えます。また、地域や保護者などへの投げかけについても最後に話題が出ていたかと思えます。

本日の会議は、事務局からアンケートに関わることについてのお話があると伺っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。以上です。

（事務局）

続きまして、石田町長よりごあいさつ申し上げます。

（町長）

本日は、大変お忙しい中、教育施設検討委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

前回、8月の施設検討委員会では、御宿中学校と布施小学校2か所の候補地において、それぞれについて事務局として現段階での配置図案や概算費用などの説明をさせていただいたところがございます。

その後、9月22日には、地域の区長様に現在までの経過等についてご報告をさせていただき、様々なご意見をいただいたところがございます。

町といたしましては、施設検討委員会の皆様、区長の皆様からいただきましたご意見をもとに、今後、候補地2箇所について町民の皆様へアンケート調査を実施させていただきたいと考えております。

アンケートの内容につきましては、事務局よりご説明させていただきますので、皆様方の忌憚のないご意見をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

よろしくお願い申し上げます。

(事務局)

それでは、御宿町教育施設検討委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が議長となりますので、三上委員長議事進行をお願いいたします。

(委員長)

はい、それではよろしくをお願いいたします。

本日、本委員会の傍聴の希望がございましたので、傍聴を許可しておりますので、よろしく願いいたします。では、議事の内容に入りたいと思います。

議題1 校舎更新候補地に係るアンケート(案)について  
事務局より説明を求めます。

(事務局)

校舎更新候補地に係るアンケート(案)について、ご説明させていただきます。先ほど町長からもご説明がありましたとおり、8月の施設検討委員会の後、9月22日に区長様方にこれまでの施設検討委員会での協議の内容等につきまして、ご報告をさせていただきました。区長様方には、まず、今後の御宿町の児童生徒数推移について、また、これまでの施設検討委員会での協議内容について、候補地が御宿中学校と布施小学校となっていることをご説明させていただきました。そして、御宿中学校、布施小学校各候補地の配置図についても資料として提示させていただきました。

また、地域の皆様への説明にあたりまして、どういった方法で周知していくかについては、事務局の方で検討して、次回、区長会にてご相談させていただくこととなりました。

こうしたお話の中で、町といたしましては、0歳から中学生までの保護者の皆様に対象としたアンケートと地域の皆様に700名ほど抽出しまして、合計で1000名を対象としましたアンケートを実施させていただこうと考えております。

保護者の皆様に対しては、5月24日に文書で、校舎更新の検討に入る旨通知させていただいているところではございます。保護者の皆様へは、この検討委員会で話し合いを進めさせていただいている旨のお話というものは、各PTA会長さんを通じて役員会等でもお話を出していただいているということでお伺いしておりますが、保護者の皆様すべてにお話が行き届いているわけではございませんので、そのところが心配である部分でございましたので、事務局の方で、この会議の前に事前に校長先生方へご意見をお伺いさせていただきましたところ、保護者の皆様には、アンケートの実施前に、現在検討委員会で、こういったお話になっているという部分を説明したうえで、アンケートを実施した方がよいのではないかとのご意見をいただいております。この件に関しましても、皆様方からもご意見をいただけたらと存じます。

続いて、本日お配りしておりますアンケート案をご覧ください。

アンケートの内容を簡単にご説明いたします。まず、年代、性別と地区をお伺いし、次に候補地2か所についてどちらがよいかというものを問うアンケートになっております。このどちらがよいかというところにつきましては、中学校の敷地、布施小学校の敷地、それぞれの良いところの情報をお知らせしたうえで、選択していただけるとよいのかなと考えております。次ページに

なりまして、さらに御宿小学校を更新する上で最も重要と思うものについてそのア～ナまでの中で5つ選んでいただいて、こちらを候補地決定にあたって参考にさせていただこうと考えております。アンケートの内容につきましても、いろいろとご意見を頂戴できればと思います。

よろしく願いいたします。

なお、このあと、10月21日に区長会がございますので、本日皆様にご提示させていただきますアンケートについてご意見をいただきましたものを、修正して、区長様にもご意見をお伺いできればと思っております。

(教育課長)

はい、私の方から少し補足をさせていただきます。

前回、8月26日の会議の中では、もうすでに地域の方に出ているような意見を聞いてきますよってということでいったん終わりにさせていただいてるんですけど、9月22日の区長さんの会議に出た段階で、やはり区に説明するのに材料的なものがないと何のための説明なのっていうようなところが抜けてしまうということで、うちの方でアンケートをとってそれを元に集計した結果をもとに皆さんにご説明したらどうかということで、アンケートってお話にもなっているところなんです。ぜひアンケートをとってくださってという話ではなくて、うちの方からその地域のあの区民の皆様にご説明するものを作りたいと言うことで、アンケートをしようということになっておりますので今アンケートという話になっておりますのでよろしく願いいたします。それですね、その会議の中で区長さんから何点かお話が出たので、そういう部分もお知らせかたがたご説明したいと思えます。岩和田区長さんからは、布施小学校の統廃合、布施小学校の敷地が選ばれていますので、布施小学校の統合と組合解体の時期とあと校舎建築のスケジュールでうまくやっていけるのかっていうような質問がまず出ました。今、令和4年度中に敷地は決定しようとしてますから令和4年度に決定して、今の状況ですと最終的に令和8年度中に建て終わらないといけないうところ、あの進めておりますので、組合の解消をその後にもっていくわけにはいかないので5、6年のその統廃合の準備をしながら組合の解消も準備して行くような形でやればタイトではありますけれどもあのスケジュールは詰めていけるのかなというところでの説明をさせて頂いております。あと新町の区長さんからは小中学校連携することのメリット。どちらの候補地で決まっても小中連携教育がやれるのかっていうような意味合いとして意見が出ています。これについては、教育長の方からメリットについてのお話をさせて頂いて、布施小学校の場合ですとやはり距離が遠くなるのでなかなか連携っていうのは常にというのはなかなか難しくなりますよっていうお話をさせて頂いております

その辺を説明したところ、また、高山田区長さんからは、もうすでに御宿小学校が候補地から抜けてるので、御宿小学校の敷地っていうのはもうもどらないのかっていうような意見がありました。ただ、これについては町長の方から3.11の東日本大震災以降ですねやはり高台っていうのがすごく保護者の皆さんから話が出ているということをご説明して、そのような中で、御宿小学校の敷地は候補地から外れてますよというご説明をしたところでございます。

区長さんへの説明会をへてですね。区長の皆さまの雰囲気としては、各区民に説明できる素材がないと区民に何の説明に行ったのかっていうような形になってしまうという形になるのではと

事務局の方が考えました。そういう思いがあったので事務局といたしましては、皆さんにお配りしたアンケートを実施し集計後、保護者や住民がどのように考えているかをまとめて、それを持って区長の皆さまに改めて説明して、どのように区民に持っていくのかお聞きしようというところで今考えております。以上補足となります。

(委員長)

ありがとうございました。それでは、具体的に協議に入りたいと思います。皆さまからご意見等ございますか。

先ほど課長さんからもお話ありましたように、地域の皆様、保護者の皆さんに対する資料。大きな重要な資料の一つとしてアンケートを実施すると、そのアンケートが現在示されているアンケート原案と言うこととなりますというような説明がございました。アンケートの内容でもいいですし、その他ご意見があれば、出していただければと思います。よろしく申し上げます。

(北村委員)

このアンケートの趣旨について、今、ご説明いただいて、地域におろしていくための材料としてという説明だったんですが、これからあるプロセスを経て、最終的に候補地を決定するまでのどういう段取りでいくのかというのが、まだあまり明確になっていない中で、このアンケートがどういう意味をもってくるのかというのは、これを1,000人聞いてどっちかが少なく、どっちが多いという結果がまず出て、かなりその影響というのは大きくて、ほぼこれで決まってしまう程の印象を持たれる方も多いのではないかなと思うんです。だからこのアンケートでどこまでの判断をするのか、それともそうではないというふうに考えているのかという確認がまず一点です。もし、そうでないにしてもすごくアンケートは書き方次第で結構結果が変わってくると思うので、その辺をやるにしても位置づけを明確にしたうえで注意してやらなければいけないのかなと、その辺についていかがでしょうか。

(委員長)

このアンケートがどういう意味合いを持つのかというところだと思うんですけども、どのような道筋を考えているのか、そのひとつの道筋のワンステップというところだと思うんですけど、その辺事務局いかがですか。

(教育課長)

今の質問だと布施小学校と御宿中学校どっちですか？という聞き方だとどっちかに決まっちゃうというところは、これを聞かないと今2つ候補地が出てますから、聞かないという選択肢がないのかなと思います。聞き方というお話はあると思いますが、あくまでも事務局といたしましては、1,000人やろうとしているのは、全体の1/4をやれば十分だろうと考えてますし、0歳から15歳までの保護者というのはアンケートが返ってくると思います。普通に抽出してやるものよりはずっと皆さんの意見が濃く出てきて当たり前のアンケートだと思ってますので、最終決定というのは当然、町がするべきものだというのは、最初からお話していると思いますけど、これで

出てきたものというのはすごく重要視するつもりでいます。ただ、この流れの中で今やろうとしている今年度中に決めないといけない部分というのが強く出ていますが、アンケートを配ってスケジュール的には、12月の中旬ぐらいまでに集計が終わって皆さんにお示しできるのは1月の中旬ぐらいだと思います。そうすると、もう後、1月、2月ぐらいのうちには決定して行くような形になると思います。ただ、その中で、地域の方にも出てくださいと話ができれば出ていかなないといけないということもありますので、住民の人たちにこの結果を持っていってもこれをやらないでいったとしたらいろんな意見が多々出てくるだけで、では実際に通っている人たちはどう思ってるのというのが出るだろうという部分も含めて、これを考えているというのがまずありますので事務局としてはすごく重要な案件として考えているというところでございます。

(北村委員)

ありがとうございます。当然そうだろうなと思い確認としてお伺いしました。そうであれば、アンケートを拝見してこれまで会議をしてきて、同じようなご意見がすでに出ているという話もありましたが、今までの会議で出てきたような、それぞれのメリット、デメリットはあった方が良くと思います。それがもう少し盛り込まれていて、アンケートを共有される皆さんにもそれを共有した形で、なるほどね、そういう声も上がってたんだ。という上で、最後にどっか丸をしてもらうという形を取った方が、今までのわれわれのやり取りも意味が出てくるのかなと思うのですがいかがでしょうか。

(委員長)

はい。今までの話の内容をもう少しこのアンケートの中に盛り込んだらどうかというようなご意見だったと思いますが、いかがでしょうか。

(教育課長)

今のお話は、問2の部分の話ということでよいですか。ここについては、たたき台として出しているので、事務局が出している良いところであろうというところだけが今見せられているので、例えばもっとこういうものを載せてもらいたいというものを具体的に言っていた方が間違いないのかなど。事務局としましては、載せませんよという話ではなくできるだけこれを選択するために出したい、材料として出してあげたいと思ってますので、その辺を意見いただければと思います。

(委員長)

問2の内容について、もう少し検討委員会で話し合った内容を入れたらどうかというところですが、それについてご意見ありますか。

これは良い点という部分で書かれているかと思います。それで話し合いの中では、デメリットみたいなところも話題には出ていたかと思いますが、そこも含めて書くのか、記入するのか、それからそれではなくて、こういうところが良いよっていうところを全面的に出してそれでアンケートするのか、その辺も考えていかなければいけないのではないかとと思いますが、その辺皆さ

んどうお考えでしょうか。デメリットも含めてここに入れるのが良いのか。

(教育課長)

はい。これを考えた際にデメリットを入れてしまうと余計そちらに引っ張られてしまうのではないかなということで、両方とも良いところをだけを羅列しております。デメリットも当然あることですから載せた方が良いんですよって意見であれば載せる話であって、この中では良いところだけを出せれば選ぶにしてもいいのではないかなという事務局の考えでございますので、ご意見いただければと思います。

(委員長)

はい。私もそう思ってこれを見てたんですけども。色々な考えがあると思いましたが、どうかと思いました。

(北村委員)

まずデメリットを載せるかどうかということに関しては、私としてはメリットとデメリットは裏返しなので、例えば今思いつくのは、以前の会議でスクールバスの経費が布施小にするとだいぶかかってしまうのではないかという話があったと思います。これは布施小にとってはデメリットですよ。でも、逆に御宿中の方のメリットというか、良い点として、スクールバスの経費がより縮小できるみたいな書き方をすれば、結局デメリットをそういう形で表現はできるのではないかという風に思いました。あとは、こういう項目を載せた方がいいのではないかということに関しても、一つは今申し上げたことはすごく大きいなと思うので、載せてもいいのかなというふうに思ったのと後は、私が個人的にずっとお話をさせてもらっている、将来的に町外からこういう自然環境のところで子育てしたいというその転入、子育て世代の転入者を描いた上でそのような人に受けると言いますか、町外からの転入が期待できるような特色を持った学校を作りが布施小の方では実現しやすいのではないかという趣旨のことなんかももう少し入れてここに載ったら嬉しいなあというふうに思っています。以上です。

(委員長)

ありがとうございます。それでは、問2の内容について、いかがですか。

(教育課長)

スクールバスの関係ですが、区長会の中でもお話をさせていただいたんですが、区長さんからの意見としては、スクールバスは決まった段階で当然かかる経費っていうのが出てくるから、この場所選びの中でスクールバスのことを出すのはおかしいというような意見がありました。でするので、そういう部分もありましたので、ここには当然経費の部分というのは、教育費の集中投入というのは当然そこがまとまってくるので、そういう部分としてはありだと思いますが、色んな経費がどうかかっていくのかというのは、一旦ここから外そうかと言うところで始めています。あと、子育てについても布施小でのいいところもあれば、御宿にも転入して来る方はいますので、どこに視点を置いての子育てをするかによっての言葉がなかなか難しいというところはあ

りますので、それはまた考えさせていただきますけど、なかなか載せづらい部分でもあるかなと言うところはあります。

(委員長)

はい、ありがとうございます。他に問2の内容についてご意見があればお願いいたします。

(埋田委員)

はい、少し思ったことが中学校の方の高台、避難時浅間山も含むとあったので、やっぱり人間催すじゃないですか。だからトイレあるのかなってという話をしてたんですね。長い目で一時的にほんの30分とか1時間の避難で済むというわけではないので、なんかその辺を考慮したら高台って言えちゃうのかな。と私的に考えてしまいました。

(委員長)

ありがとうございます。

そうですね。やっぱりこういうふうに書き出すと、その中でこれはどうなのかな。あれはどうなのかなというような思いが出てきちゃうので、そこをもっともっと細かく書いていくとちょっと複雑になりすぎて、分からなくなってしまいうってアンケートの感想的なものがもっともっと離れていってしまうので、ある程度アンケートの選択を簡単に答えられるほうがいいと思いますので、そんなところを考えると、このままでもいいのかなというようなことを思う部分はありますけどもいかがでしょうか。あと、それから問3にいけますけど、問2と問3はすごくリンクすることと言いますか、関係するところがすごくあると思いますね。だからこういうような、教育活動がふさわしいというか、適切な場所というところもあると思いますけどね、はい。例えば、グラウンドの広さとかもね。その辺、問3に含まれてますけれども、これもすごく関係するところかなというふうには思っています。それでは、問2から問3の方までいってしまいましたけれども問3含めての内容で何かございますか。

(浅野委員)

問2と問3の順序のことなんですけれども、問2の方で先に結論を取ってしまって、そのあと問3の方で具体的な観点みたいなものを聞いているのですが逆の方が良いのではないかと思います。具体的な観点から見ていってから考えるのが順当なのかなと思いました。

(委員長)

ありがとうございます。色んな条件を整理していて、最後にだからこっちだろう、これだろうという最後の結論というか、考えをまとめたあとに結論を出すという順序の問題もある。

(浅野委員)

答える側も筋道立てて、考えるのかなと思いましたので。

(委員長)

その辺は、良いしていただければと思います。はい。

次にいってよろしいでしょうか。

アンケート前に各学校の保護者に説明をしたほうが良いというような、先ほどした方が良いのではないかというようなお話が事務局の方でありました。小学校、中学校それぞれの保護者にアンケート実施前にそういう話になってるということを説明した方がいんじゃないかというご意見があったということなんですけど、それについてはいかがですか。

今までの経緯は、おそらく会長さんや役員さんが役員会とか学校の中でそれぞれの方に話をさせていただいていると思うんですけども、まだまだ使ってない部分があると言うのでこのアンケートの実施する前にこういう経緯でアンケートをこれからやりますよということを保護者の皆さんに説明する機会、それを持った方がいんじゃないかという校長先生のご意見だと言うことなんですけど、それについてはいかがでしょうか。学校関係で新島委員いかがでしょうか。

(新島委員)

意見聞いていただき、ありがとうございます。

できましたら保護者の方には、丁寧にアンケートの前に説明していただきたいと思うんですけども、ただ、このアンケートをどのように活用して地域の皆様にお返しして、どういう手順で最終的に決まるのかっていうところの道筋も含めて、保護者の方にご説明いただくと、より具体的にご理解頂けるのではないかというふうには思っております。もちろん口頭で説明いたしますから、その際にはこの施設検討委員会で、今まで色々と積み重ねた部分も丁寧にご説明いただいた上で、保護者の方にアンケートを取って、選択していただくという手順を踏んでいただければありがたいなというふうに思っております。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

そうですね。アンケートを実施して、そのアンケートがどう生かされて、どういうふうな段取りで決定していくのかっていうのがやっぱり保護者にとって一番大切なこと、重要なことなので、その辺をわかるように説明していただきたいということですので、その内容も含めて説明をするということをお願いしたいと思います。

他の委員の皆さんは、これについて異論ありませんか。

(北村委員)

はい。1点だけすみません。なかなか出席できないご家庭もあるかと思っておりますので、書面で今新島委員からお話あったようにことが説明されて、それは全員の手に渡ると、さらに説明会ではこれをベースにお話しをいただいた上で、当日来られた方は質問なんかもできるという意味で、より丁寧にご理解頂けるというような、二段構えじゃないですけどそういう考え方が出たのかなというふうに思いました。



(委員長)

はい、出席できない、そういう方もご理解いただいたような内容で、文書とか考えていただければということですがただ、その辺は学校側とやり取りしていただいて、色んな形で保護者にお知らせしていくかということをやっていたらということですのでお願いしたいと思います。

(委員長)

それでは、アンケートについて、今お話を進めているところですが、このアンケート内容も含めて、その他お気づきの点がありましたらお願いしたいと思います、いかがでしょうか。

ないようでしたら、次に議題の2に入らせていただきますが、よろしいでしょうか。それでは、議題2、その他になりますが事務局お願いします。

(教育課長)

はい。私の方から前回の会議の中で説明しましたことと、校舎建設補助金を調べていきました中で考えを改めなければならない事項がございます。これについてご説明をさせていただきます。中学校の敷地に決まった場合に校舎建築、教室の使い方について、現在の中学校を御宿小学校にリニューアルするというようなお話でご説明してきたと思います。新たに中学校の職員室や普通教室など建築するとお伝えしていたんですけれども、千葉県に確認したり、色々と調べていく上で、新たに御宿小学校の校舎を職員室や保健室、普通教室、必要最低限の建物を新築して、特別教室は今まで通り中学校と共同で使ったり、一部普通教室を中学校の方に配置する方向で考えていきたい。これについては、補助金について出ない部分っていうのが出てきて、補助金を全く考えないで建築するというのは町としてもできないので、できる限り補助金をいただきながら、できるだけいいものを作ればなという部分で動いておりますので、中学校は、中学校のままで小学校の一部を建てるような形で、他の共同で使える場所は共同で使っていきましょうよという考え方に方向が変わっております。今後はそういう方向でまた考えていかなければいけないなというところがございますので、一部訂正させて頂きたいと思います。併せて、現在の御宿中学校についても、建築から15年経っておりますので、長寿命化の大規模改修もやらなければいけない。これについても補助金を活用しなければならないんですけれども、これも中学校は中学校のままでないとなかなか補助金がもらえないという部分があったので、併せて新たに建てる部分とその大規模改修をする部分で、補助金も目一杯使いたいという部分がありましたので、そういう方向変換をさせていただいているというところを申し訳ないんですけどお話させていただきました。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございました。

(浅野委員)

今の話を聞いてまた最初に戻って考えなくてはいけないのかなと感じました。現地を見学に行った際に中学校の敷地のどこに小学校の校舎を建てて、どこに小学校の児童の遊具を配置した方がいいのかと考えた時に非常に隅の方の空いているところにごわごわと建てなければいけないような感じを受けましたので、そういう意味では中学校に御宿小を持っていくということに今の話を聞いてすごく抵抗を感じています。それだったら今からそれを蒸し返して申し訳ないんですけども、B&Gの方の敷地をもう一回考えてみるとか、布施小学校の方のメリットをもう一度考えてみるとかも検討する余地が出てきてしまったのかなというふうに思います。

(委員長)

はい。そのことについて、委員の皆さんいかがですか。

今現在の御宿中学校の校舎、それを小学校にということで新たに違う校舎、教室をみたいなのを中学校用にということだったんですけども、それがなかなか今の中学校の校舎を小学校用にリニューアルとなると補助金が出ないということになるということで、補助金の活用となると小学校の校舎を立てなければならないということになるということなんですけれども、具体的にはこの前現地見学した時には道路側ですね。今の駐輪場がある所、道路沿いが候補者、建てるような計画だという話だったんですけども、そこに小学校の校舎を建てると考えていいんですか。

はい、お願いします。

(教育課長)

中学生だから駐輪場だったと思います。距離も遠く、中学生の足と小学生の足だと違うので、今後 これを考えていく上では、場所は中学校の中でもまた別の場所に考えなきゃいけないんじゃないかなというところはあります。ただ駐輪場のところに建つということであれば、また一からの話に戻すということではないとは思っております。敷地の中としての話をしているもので、その中でどれだけいいものが建てられるかというところに観点が置かれれば、中学校の敷地と布施小学校の敷地とまだ決定はされてませんので、御宿中学校の敷地になった場合にもっといい場所が小学校建てる上ではあるのかなという部分もありますので、その辺はまた今すぐにどう建てるんだっていうものはありませんけど、今後またそれを皆さんにお示しすることはしていこうと思っていますけど、検討のやり取りの中でなかなかそれが難しかったという部分がありましたので訂正をさせていただいて、敷地の選択については、あそこだからそこにするっていう話ではなくて、御宿中学校と布施小学校というものが皆さんの中で決定されたと事務局としては思っていますので、その中で建て方が違うからまた0に戻してという話にはならないのかなと思います。

(浅野委員)

この前のお話ですと、中学校の方は普通教室の数が少なくて済むので、駐輪場の方に建てて、現在の中学校の校舎を小学校にリニューアルして規格を直して使うというお話だったと思います。今度、小学校を建てるとしたら中学校の普通教室だけの規模とは違いますので、あの敷地の

中のどこに小学校の校舎が建てられるかということを考えてときにこうイメージとして、この前見に行って実際にここの空地やその空地というふうに隙間っていうふうに見てはきましたけれども子どもたちの教育環境として、適切な校舎が建てられるスペースが本当にあるんだろうかというふうにあの条件が変わってきたので、この前は先ほど申し上げたように中学校の教室を駐輪場の方というお話だったので、それだったらなんとかなるのかなという気持ちもなきにしもあらずなんですけども、今改めてこう考えてみると果たしてそれでいいのかな、このまま曖昧なまま中学校の敷地の中というふうに決まっちゃったらそれでいいのかなとちょっと不安になってます。

(委員長)

はい、そうですね。中学校の敷地に建てる。これから検討しないといけないと思うんですけども、それとしてもやっぱり共有部分というか、一緒に使える部分は確かにあるかと思えます。現在の中学校の施設を小学校の子どもたちが使える部分とか、そういう部分も有効活用していくような、そういうのはどこに建設するかどうかまだイメージ湧かないかもしれませんが、そういう工夫もできるということは、考えても良いのではないかなというふうに思うんですけども。だから今現在、そのここに建てましょうというような決定ではなくて、先ほど課長が言ったように敷地内で小学校を建てて、それで現在の中学校の施設をうまく活用できるという部分が出てくる。そういうような校舎建築の方法を考えていくということだと思うんですけども。だから、できないってことではないと思いますが、なかなかその予算の関係とか出てきちゃうと非常に難しいことになってしまいますが、皆さんの考えを聞かせていただけますでしょうか。

(北村委員)

私も浅野委員と同じような懸念と言いますか、B&Gをもう一回復活とは思ってはいませんが、私はもともと布施小という考えでおりますので、一層その思いを強くしたかなというふうに思っています。やはり浅野委員が懸念されているようなことで、会議でそういう懸念が示されているということもきちんとこのアンケートの話に戻るといったことがやはりアンケートの回答者に伝わった上で、判断をしてもらうと言うことがやはり大事なのではないかなというふうに改めて感じました。以上です。

(委員長)

はい、他に意見ありますか。

(立野委員)

私は、最初に現地視察に行った時に、やはり4箇所を見てその時に布施小学校と中学校の二択っていう形で、小学校は津波の関係で厳しいので、B&Gに関しましては、やはり場所的な問題があるのかなというので、その時にはやはり中学校の場所であっても、小学校を建てるという形でいった時に、小学校を建てるので中学校の場所と布施小学校の場所というかたちで、二つで考えましたので、今その補助金関係でっていうよりも、もうその二択で考えていけばいいのかな

と。どちらかを決めるのは、やはり今後このアンケートとか、場所がここに決まったという時に建てる場所を正確に決めていけばいいのかなと思います。

(委員長)

ありがとうございます。小学校建築ということで考えて二箇所絞れたと。だからその敷地どちらかということで決めていただいて、それで建築にあたって先ほど言ったように上手く施設を共有したりできる。そういうものをよく熟慮していただいて、建築に向かっていくと、御宿中の場合はですね。そういうふうにしたらいかがかなということだと思います。他にご意見ございますか。

先ほど北村委員がおっしゃったことなんですけれども、それはアンケートの中に入れるというのはすごい難しくなるんじゃないかなと思うのですがその辺はいかがですか。

(教育課長)

はい、すみません。保護者の人たちには会長さんたちからはこの中学校の校舎を小学校にするというところまでお話されているんですか。あくまでもこの2つに決まって、どちらかの敷地でということで決まっていれば、このアンケートの中は全くまっさらでいいのかなと。先ほど立野委員がおっしゃった通り、このアンケートの中では皆さんが二つから選択してもらうために今まで協議をしてきたので、そのあのまあ、いいところだけ載せるべきかということ、まだはっきりしてませんが、その中で選択していただければいいのかなということなんだと思うんですけれども。だから今、こういう使い方をするんで、話がおかしくなった部分がありますよというのをわざわざ入れる必要があるかなということがあくまでも今の出されている皆さんが布施小学校の敷地と御宿中学校の敷地ということで決めていただいたものをそのまま出して、それでどう考えているかを聞いた方がスムーズかなということなんです。

(委員長)

今、事務局からお話がありましたが、どっちに建てようかという建築の部分でアンケートをお願いするという形となる。場所が決まった後は、それはもうそこで精一杯のことを考えていきましょう、子どもたちのために考えていきましょうということだと思いますけれどもはい。

やっぱりいろんな条件が加わってくると分からなくなってきちゃうので、なるべくこう簡単に分かりやすいアンケートで、それでお聞きした方がいいかなという。ただ、わかりやすくても、そのきちんと押さえておくかなきゃいけないところはしっかり押さえる。ここにいいところは書いてありますけれども、そういうところをちゃんと明記しながらわかりやすくアンケートをとるということは大事かなというふうに思いますが。

はい、どうぞ。

(北村委員)

もちろんアンケートはシンプルにするというのは大事なことだと思います。ただ、私が今まで

こう皆さんの話を伺っていて感じたのは、やはりその争点をきちっとこのアンケートに表現しないと、もっと言うと先ほど申し上げたように、我々が今まで積み重ねてきたところで、一つはやはり御宿中の校舎だと手間なんじゃないかなという懸念が争点の一つではないかと思うんですね。それから、これはもう一つは私だけが言っているだけなのかもしれないんですが、将来的な少子化に歯止めをかけて、町外からの転入までをそのストーリーとして描いて、そこを狙って施設を建てていくと、そこにチャレンジしていくんだというビジョンとかですね。そこを今回の新校舎建築にそこまでを描いた取り組みにするのか、しないのかというのもやっぱり一つ大きなところではないかなと思うんですね。それはこの今の本当にシンプルな内容のアンケートを今までの経緯の説明もなく実施するとほとんどの親御さんには伝わらないというか、そこまで考えが及ぶ方も中にはいらっしゃるかもしれないですけども、それはもったいないんじゃないかなというふうには思います。だから、そういう意味でアンケートにどこまで盛り込むかしておき、最低でもその事前の説明資料の中にこういった懸念がある、こういうタイプの考えがその事前の検討委員会の中では示されていると言うことがあまり触れずにくどくどかける必要はないと思うのですが、やはり一定の形で表現されるべきではないかなというふうに思います。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございます。今おっしゃった中はアンケートに入らなければ、そういう経緯というか、今までの話し合いの内容をもう少し詳しく何らかの形で示す必要があるんじゃないかと言うようなご意見だったと思うんですけども。

その辺について、他にご意見もありますでしょうか。はい、お願いします。

(吉田和委員)

自分も立野委員と同じ意見になってしまっていますが、7月26日に現地の方見させてもらって、色々ここがメリット、デメリットとあった中で、一旦は御宿中と布施小学校のところでとまとまったと思うので、もうそれは崩さないで、意見あると思うんですけど、あまり色んなことを書いてると主旨がぼやけてきてしまうと思うので、あまり書かない方がいいのではないかと。これはあくまでもどっちがいいかだけで簡単なメリットを書くぐらいでいいのかなと思います。

(委員長)

はい、ありがとうございます。なかなか難しいところだと思いますけれども、二択というところで今進めていますということでございます。こういった話し合いを経て、このアンケートの内容が出来上がってるというところもありますね。だから、問2のところも話し合った内容の中からとか出てきてるかと思うんですけども。大事な部分を計算して内容に入れてるっていうところかと思うんですけども。小学校、中学校、こども園とかも説明文ですか。

(教育課長) はい、考えています。

(委員長)

その後、質問が出たりするかもわかりませんが、その時にまた詳しく言うか、今後話し合いの

内容を少しお話しできるということもあるかと思いますが。

このアンケートを区長さんや住民の方に対する資料の一つとして活用するっていうのは皆さんご了解頂いたというふうに思います。施設検討検討委員会の流れについて、いろんなご意見があったということは、小学校、中学校、そして子ども園の説明会の中で質問に答えるという形ではどうかと思うんですが、いかがでしょうか。

良い悪いは、なかなかはっきりしないと思いますが。はい、お願いします。

(埋田委員)

説明会は、どのようにやるのですか。一斉とか各学校に分けてとか何回やるのですか。

(教育課長)

はい、今はコロナ禍なので、やはり御宿小学校の低学年、高学年別にやるのか、2学年ずつやるのかということもありますので、やり方はまた校長先生や子ども園の園長先生とかとも相談しながらやらないといけないと思っているので、何回というのは決まっていなく、また実施した内容は報告いたします。

(埋田委員)

はい、ありがとうございます。

(委員長)

今こう話を進めてきたところですけど、なかなかまとまらなくて申し訳ありませんが、先ほど申し上げましたように、このアンケートは実施していただいて、この内容を実施いただいて説明会を開く。でその説明会の時に質問等が出たら、答えていただくと、またその質問の前にまずお伝えすることがあれば、事務局の方で保護者の皆さんにお伝えしていただけるようなことで進めていきたいというふうに思います。それでは、議題2についてもこれで終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

(事務局)

それでは、次回の検討委員会についてですが、先ほど課長の方からも説明させていただいたんですけども、保護者の皆様にご説明させていただいて、アンケート調査を実施して、その後集計分析の実施した後ということになるかと思いますが、年明けごろ予定したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして。御宿町教育施設検討委員会を終了いたします。ありがとうございました。